

農業人口の減少に新たなアプローチ

農業振興諸経費 2,115万円

新規事業

農業男子・農業女子PR事業、
「勝山百歳やさい」 応援事業補助金

近年、農業関係者の平均年齢は高くなり、老化や病気などの理由で農作業ができなくなることも多く、農業従事者の数は市内でも減少が続いています。市内農家の新しい応援・支援策として企画されたこの応援事業は、市内農家の人柄や生産物の紹介など、その活動を支援する事業です。古くから栽培されている野菜などを、「勝山百歳やさい」として位置づけ、そのブランド化や県内の流通の拡大を目指すなど、市内の農業人口増加を目的にしています。市の抱える農業問題に対し、新たな角度からの課題解決に向けたアプローチとして、今回の新事業の内容説明がありました。

まだまだ減らない鳥獣害

鳥獣害対策事業費 1,161万円

猪、猿、熊、鹿、鳥と獣害に暇がない勝山市であるが、猟師の数の確保ができていないか、捕獲した後の処置について、委員から質問が出ました。それに対して「銃所持の猟師は16名、随時試験を受けられる方には補助を行う。猿は中型の檻を2つ追加（現在大2、中2）し、GPSを付け群れの動向を把握しながら捕獲を続けている。猪等の個体は焼却施設には幼体しか入れられないため、成体は企業に依頼し処分を行っている。血抜き処置、個体数の安定供給が見込めないことから、ジビエに転用及び新たな焼却炉の建設等は難しい。」と理事者側から回答を得ました。今後も良い案を吸い上げて実行していくとのことだったが、根本的解決にはまだまだ策を講じていかねばならないと認識する結果となりました。

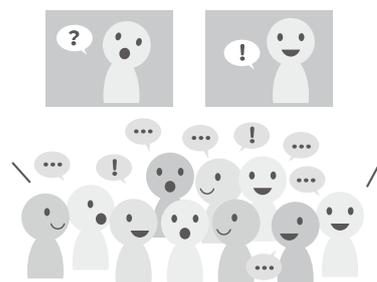
議会のなぜ？にお答えします

「反対討論」

議案に対して異議がある場合、反対を表明するための意思表示として、本会議において表決の前に「反対討論」ができます。

〈反対討論〉

議案に対して議員が「反対」を表明、その理由を述べて、他の議員に賛同を求めるものです。その後、議長がその議案について表決を採ります。



しかし、例えば、議案第51号「令和3年度勝山市一般会計予算」にはいくつもの予算が計上されているため、その中の1つの事業予算案だけが反対であると反対討論をしても、理由如何にかかわらず、予算全般を「反対」とみなされます。

議案の一部を反対したい場合は、「修正動議」を提出して審議をすることができます。